音鑑の助成事業がリニューアル！

2026 年度　音楽鑑賞教育助成事業

《実践奨励の部》

あなたの鑑賞授業の実践が、全国の先生のヒントになります！

2026年度からの新しい助成事業では、**音楽鑑賞の授業実践を募集し表彰します**。これまで募集していた大がかりな研究計画ではなく、**日々の鑑賞の授業で感じる課題の解決もしくは改善に取り組んだ実践の成果をお送りください。**

入選者の勤務校には、GIGAスクール下における音楽鑑賞環境の充実を願い、ヘッドホン1クラス分を贈呈します。

◎募集対象：小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員
◎募集締切：2026年8月31日（月）
◎入選発表：2026年12月下旬
※従来の助成研究の募集は休止します。

募集要項は裏面をご覧ください。

2026年度　音楽鑑賞教育助成事業
《実践奨励の部》　募集要項

公益財団法人音楽鑑賞振興財団（音鑑）では、有益な音楽鑑賞教育の実践・研究が推進されることを願い、研究事業や助成事業を実施しています。この「音楽鑑賞教育助成事業」では《実践奨励の部》として、音楽科教育に携わる教員を対象に、「音楽科教育の課題解決もしくは改善を目指した、鑑賞領域を中心とした授業実践」を募集します。

募集内容

音楽科教育の課題解決もしくは改善を目指した、鑑賞領域を中心とした授業実践

募集対象

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員

応募方法

授業実践報告書のフォーマット（Word形式）をONKANウェブネットからダウンロードし、「解決・改善したい課題」「取組の実際」「結果の考察」を入力し、財団事務局までメール添付で送付してください。

応募締切：8月31日（月）音鑑事務局必着

【応募の留意点】

- 報告書は未発表のものに限ります。
- 応募者自身の授業実践および考察に基づいて作成してください。既存の実践報告等を転載または流用したもの、応募者自身の実践や思考によらない方法（生成AIを含む）で作成されたもの、その他不正な点が認められたものは、審査の対象外または入選取消とすることがあります。
- 過去3年間の実践をご応募いただけます。
- 指導計画、ワークシートを添付する場合は、報告書とは別のファイルとして添付してください。
- 図表や写真は報告書本文に含めてください。映像・音声などの資料は添付できません。
- 勤務校校長の事前承諾を得て応募してください。

応募フォーマットは、ONKANウェブネット https://onkan-web.net/ からダウンロードしてください。

応募の送付先
公益財団法人音楽鑑賞振興財団
音楽鑑賞教育助成事業係
zai_onkan@post.pioneer.co.jp

審査基準

提出された授業実践報告書を、次の①から③の基準で審査します。

① 鑑賞領域の学びを中心とした内容である。
② 課題の解決もしくは改善の内容、授業実践の方法が妥当である。
③ 取り組みに創意工夫が見られ、多くの教員の参考になるものである。

入選数・副賞

優秀賞　4件を上限とします。
優良賞　優秀賞と合わせて7件を上限とします。
副　賞　**入選者に2027年度発行 季刊「音楽鑑賞教育」1年分を贈呈します**（音楽鑑賞教育マイスター会員への無料入会）。
入選者勤務校にヘッドホンを1クラス分贈呈します。

- 優秀賞に選出された報告書は、当財団を通して出版・発表するものとします。
- 応募原稿、資料は返却いたしません。
- 副賞のヘッドホンは、接続端子が3.5mmミニプラグのものとなります。Lightning 端子または USB Type-C 端子のみを搭載した端末で使用する場合は、変換アダプタを各学校にてご準備ください。ヘッドホンの機種・カラーは選択できません。

入選発表

2026年12月下旬にONKANウェブネット、および、2027年4月1日発行の季刊「音楽鑑賞教育」Vol.69誌面において発表します。優秀賞に選出された授業実践報告書は、季刊「音楽鑑賞教育」（2027年7月発行号以降）に順次掲載します。

選考委員

河野正幸（聖徳大学名誉教授）
嶋　英治（元福島大学特任教授）
辻村哲夫（選考委員長／元文部省初等中等教育局局長／公益財団法人音楽鑑賞振興財団常務理事）

後援・主催

【後援】全国都道府県教育長協議会／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会／全日本音楽教育研究会／一般財団法人日本私学教育研究所
【主催】公益財団法人音楽鑑賞振興財団 〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-32-15 松本記念音楽迎賓館 TEL:03-5717-6885